

## 企業向けテレマティクスサービス『法人ドライブエージェント』のラインナップ追加 ～通信機能付きドライブレコーダー(2カメラ一体型)の提供開始～

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 広瀬 伸一、以下「当社」)は、2022年1月から、企業向けテレマティクスサービス「法人ドライブエージェント(DA)」のラインナップに、2カメラ一体型ドライブレコーダーを用いたサービスを追加します。

後方や側方など広範囲の撮影が可能となる車内カメラにより、追突や側突の被害を受けた際の映像記録が可能になる他、わき見運転を警告する機能等を新たに搭載します。また、企業の管理者向けのWEBサービス機能を拡充し、企業の安全運転に関する取組みの推進や効率的な運行管理に貢献してまいります。

### 1. 背景

当社が2016年2月に、国内大手損保で初めて企業のお客様向けに通信機能付きドライブレコーダーを活用したサービス「法人ドライブエージェント(DA)」の提供を開始してから、約5年が経過しました。

DAは、通信機能付きという特徴を活かし、従来のドライブレコーダーでは実現できなかった事故発生時のオペレーターへの自動連絡・音声通話や事故防止支援機能の提供、企業のお客様におけるWEBサービスを通じた運転情報管理を可能としました。ドライブレコーダーを単なる映像記録装置ではなく、事故の予防や従業員への安全運転教育、事故時のドライバーをお守りするツールとして提供しているDAは、多くのお客様より支持をいただいております。これまで累計で約5,000社・10万台超(2021年9月末時点)のご契約をいただいております。

一方で、近年のドライブレコーダー市場の拡大とともに、お客様のニーズは多様化しており、さらなる高機能端末の導入を期待する声が高まってきております。

### 2. 今回の対応

当社は、ドライブレコーダーを取り巻く環境変化に対応するため、2022年1月からDAの新たなラインナップとして、前方カメラと車内カメラが付いた「通信機能付き2カメラ一体型ドライブレコーダー(新端末)」を用いたサービスを追加いたします。

新端末を用いたサービスでは、従来の端末と同様に、事故による強い衝撃を検知した場合に、自動で提携先の警備会社に連絡をします。その際、警備会社のオペレーターは車内カメラの映像で、搭乗者の状況を把握できるため、より正確に救急車や警察の要請等の対応を行うことが可能となります。

また、企業の管理者向けのWEBサービスには、企業独自のヒヤリハットマップ作成や画面上で車両の現在地を確認できる動態管理機能等を新設します。これらの機能追加により、自社車両の運行状況や事故実態を反映した安全運転教育を、企業のお客様ご自身で実施することが可能となります。

(1) 新端末の特長

【端末イメージ】



【ハードウェアスペック概要】

サイズ	縦 67 mm、横 110 mm、厚さ 44 mm
画素数	約 200 万画素
画角	前方カメラ: 水平 130°、車内カメラ: 水平 145°
位置測位	GPS、GLONASS、QZSS
最大録画時間*	約 5.5 時間(端末の設定で車内カメラの撮影を OFF にした際は、約 11 時間です)

\*32GB の SD カード前提かつ絶対保証値ではありません。周囲の状況、運転の状態によって異なります。また、録画画質の抑制により、約 2 倍の録画時間が撮影できる長時間録画モードもあります。

(2) 新端末による新たなサービス・機能内容

新端末では、従来の端末で提供する衝撃検知時の自動連絡や WEB サービス等に加え、以下のサービス・機能を提供いたします。

	サービス・機能	内容
端末	前方・後方および側方の同時撮影	車両前方・後方および側方を同時に撮影できることで、より多くの事故形態で映像を活用できます。
	わき見警告機能	車内カメラでドライバーの顔の向きを分析し、わき見を検知すると音声と画面の表示で注意を促します。
	駐車中の録画機能	駐車中監視機能の使用を選択すると、駐車後約 30 分の間に衝撃を検知した際の映像を記録することができ、駐車中の当て逃げ事故に対応できます。
WEB サービス	動態管理機能	企業の管理者が端末設置車両の現在地を WEB 上で把握できます。
	ヒヤリハットマップ作成機能	端末を設置した全車両のデータをもとに、企業独自のヒヤリハットマップを作成することができます。
	メール通知機能	端末設置車両が事故や急操作を検知した際、事前に WEB で登録したメールアドレスに通知されます。
	安全運転診断機能	WEB 上で従業員別の急操作回数や安全運転診断、ランキングの自動作成ができます。
	走行情報抽出機能	衝撃検知発生時の走行映像を WEB にて抽出し、実際の社内教育に活用できます。
	自動グルーピング機能	運転に課題のある従業員のグルーピングを行うことができます。
	日報作成機能	運転日報を自動で作成できます。
	操作ロック機能	企業の管理者が WEB 上で特定の端末に対してロック設定を行うことで、ドライバー単位での端末の設定変更を不可能とする操作ができます。
	メッセージ配信機能	企業の管理者が WEB 上で特定の端末設置車両に個別にメッセージを配信することができます。

なお、新端末は従来の端末と同様に、2020年3月に業界で初めて実装した「AIを活用した事故状況再現システム(\*1)」にも対応しております。

(\*1)2020年3月17日 ニュースリリース AI技術とドライブレコーダー映像を活用した「事故状況再現システム」の導入  
[https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/release/pdf/200317\\_01.pdf](https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/release/pdf/200317_01.pdf)

### (3) サービス対象、特約保険料

当社の事業者向けの自動車保険にご加入いただき、「法人ドライブエージェント(DA)」をご契約いただいたお客様を対象に2カメラ一体型ドライブレコーダーを貸与します。特約保険料は月額1,700円です(分割払、分割割増なしの場合)。なお、従来からご提供している前方1カメラ型端末(月額1,200円)を選択いただくことも可能です。

### (4) サービス提供開始時期

2022年1月1日以降始期契約を対象としてご提供します。

当社はこれからも、お客様の「いざ」を支えるために、より高度な事故対応サービスや事故削減サービスの提供等を通じて、お客様の安心・安全なカーライフの実現に貢献してまいります。

以上